

# ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真=麻生川の桜

## 桜咲く

小森 公美  
2021年 4月 8日

柿生駅から13分程度歩くと「あじさい寺」との異名を持つ浄慶寺があますが、桜の時期も小旅行気分を味わえます。私が初めて訪れた時はちょうど満開の桜が散り始める頃で天気も良く、ほどよい風も手伝って360度の花びらの舞いに魅了されました。

後に調べると、浄慶寺にあるたくさんの石像は「羅漢様」だとわかりました。聞きなれない言葉ですが、悟りを開いた高僧の事だそうです。沢山の羅漢像は世相を表していたり穏やかに談笑したりしています。

今はミシンでマスクを縫う、マスク姿の羅漢様がいるようなので、次の桜の時期には世の中も笑顔があふれている事を願うばかりです。葉桜も見納めとなりそうですので紫陽花が咲く頃を待ちたいと思います。

桜の名所は数々ありますが今年はゆっくりと楽しめないまま終わってしまった、という方は下記の薬師池公園も是非お楽しみくださいませ。



写真=動画でレクリエーション 春の薬師池公園

QRコードから動画がご視聴可能です↑



写真=4F 屋上庭園に咲いたチューリップ

ご入居者様と職員が散歩している場面(2021年4月2日)

## 屋上庭園の春

石井 太一  
2021年4月6日

気持ち良い陽気の季節となり、ホームの4F屋上庭園にも春が訪れました。コロナ禍で外出が難しい現在、晴れた日の屋上庭園は、ご入居者様にとっての憩いの場となっております。庭園内は、ぐるりと周回が出来る構造になっており、お散歩コースとしても最適です。日課としてご自身で歩かれているご入居者様は「今日は何周」と目標を決められ、運動されているお姿も拝見されます。ちょっと疲れを感じたら、腰かけスペースがコース上に沿う様にあるので、いつでもお寛ぎいただけます。

今の時期、屋上庭園にひと際彩りを添えているのがチューリップやノースポールをはじめとする春の草花です。花壇には数種類に渡る一年草や多年草が咲いております。どれもご入居者様がご自身の手で移植され、日々汗を流されながら育てられている草花です。花壇は車椅子の方の目線の高さに合わせて、つくられている為、スタッフのお手伝いで車椅子移動されるご入居者様も安心してお花と触れ合う事が出来ます。

庭園の奥には営繕兼ドライバーの石原とご入居者様が共同管理している「ミニ農園」があります。春作として、ジャガイモの種イモの植え付けを行いました。大きいイモは包丁で半分に分けて植えました。先日、ご入居者様からいち早く発芽の知らせをお聴きし、「収穫したら、是非温めて食べたいです」と今後の栽培プロセスへの期待が一層膨らんでいる様子が伺われました。土寄せや追肥、害虫対策といった管理に石原もご入居者様と共に、大粒の汗を流してまいります。

この様に屋上庭園では、「四季」や「小さな農」を感じ取る事が出来ます。今年もソメイヨシノが麻生川沿いに美しく咲き、ご入居者様と屋上からも観る事が出来ました。介護が必要なご入居者様もスタッフのお声掛けとジェスチャーを交えながら、庭園を五感で感じ取ってもらえる様に努めさせて頂いております。

今後はキュウリやオクラといった夏作も栽培予定です。彩り豊かなお花と共に是非お楽しみ下さい。

## 今月のトピック

・理美容サービス

・委員会活動報告(ONE総生会)

・スタッフ紹介

## 理美容サービス

前原 咲奈  
2021年4月6日

毎月、第1、第3土曜日に株式会社ヘルスケア理美容 ネットワークさんから2名来てくれています。

身体の調子が良くなく、簡単に美容院には行けない方が多いと思います。ですが、ロイヤルホームに来てくれるので、いつも過ごしている環境で、リラックスして施術をうけてもらい、何か問題が生じても介護スタッフが対応できるので、ご入居者様も職員も安心です。

ご高齢になると、身の回りのことがおろそかになりがちで、美容に対する意識も低下してしまう傾向があるそうです。しかし、美容を楽しめるようになると、気持ちが明るくなるなど精神面での良い影響も期待できます。

パーマやカラーリング、眉毛のカット、シャンプー、顔そり、カット等のサービスを提供しています。状況に合わせて、車椅子に座った状態や、居室で行う事もできます。

長年、来てくれているので、ご入居者様と心のこもった会話で心地よい時間を過ごしていただいています。

髪を切り、セットして戻ってくる皆様の笑顔を見ると、私たち職員も笑顔になります。

「髪を切るだけなのに、気持ちが明るくなるね。」とお言葉をよく聞きます。

何歳になってもいつまでも身だしなみを整え、オシャレを楽しみ、人生を楽しむお手伝いができれば嬉しく思います。



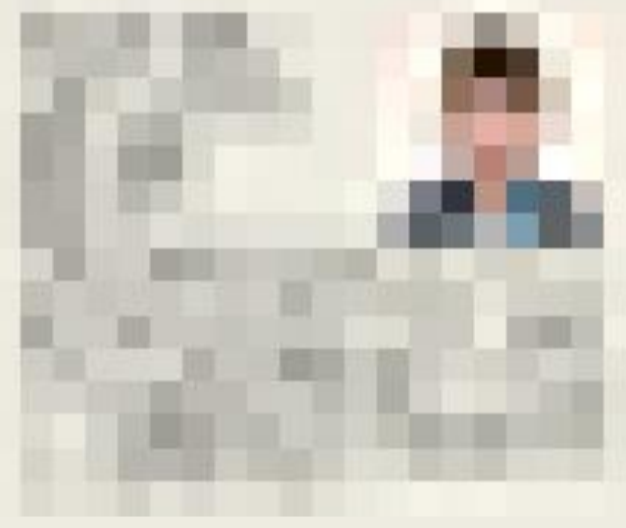
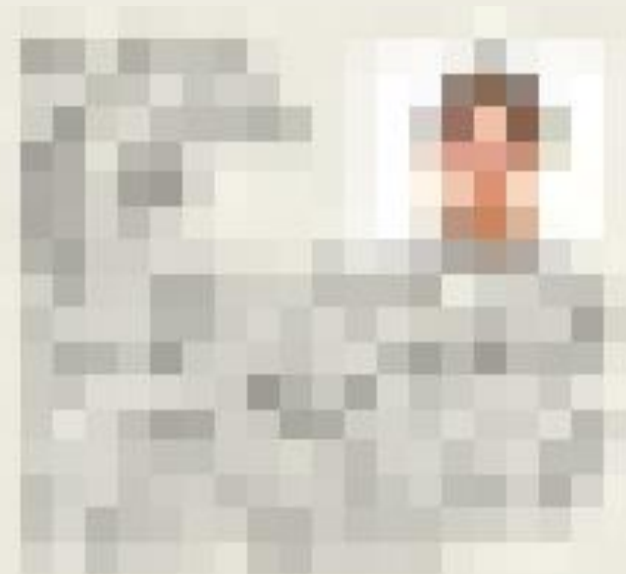
写真= カラーリング後にブローをしている様子



写真= ヘアカットの様子

## スタッフ紹介

2021年4月5日



## 振り返り

岡 聖史  
2021年4月14日

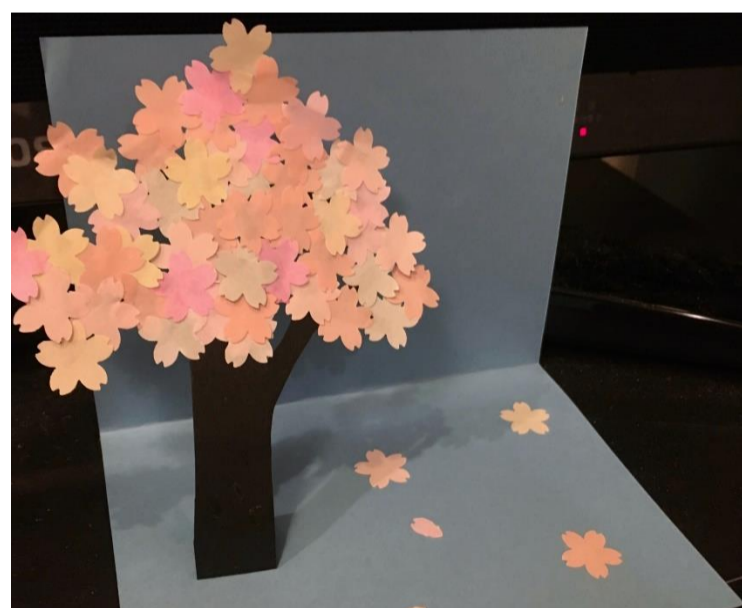
4月は年度の始まりなので「スタート」を連想する方も多いのではないのでしょうか。私の場合は、春・桜・挑戦・期待といったポジティブな言葉を連想します。しかし、言葉を連想することで、逆のイメージも発生します。寒い・不安・緊張・苦勞等、物事には表裏があるのだと改めて気づきます。裏を見ないで表だけ見ていればいい。一見前向きにも聞こえますが、損するのは自分です。表と裏のバランスを取りながら、巨視的に受け入れることが、良いスタートを切るコツではないのでしょうか。皆さんの4月が良いスタートになる事を祈っております。

## お知らせ

緊急事態宣言が解除され、車中からのお花見に一部のご入居者様をお連れできました。今回お花見に行けなかった方の為に、動画でのお花見も実施いたしました。

また、工作レクにて桜の木を作成いたしました。左の写真はあるご入居者様のお部屋に飾られていた作品です。「これはずっと咲いているから、いいのよ」と笑顔でお話されていました。

写真= 2021年 4月2日 ご入居者様の作品



## 委員会活動報告 (ONE総生会)

岡 聖史  
2021年 4月14日

総生会では、2020年より年間目標として”ONE総生会”と掲げています。総生会には事業所が複数ありますが、事業所間での協業により理念の具現化と成長を目標とするものです。これまでは、各事業所が同法人に属していながら、十分な機能が発揮しき

れていない部分がありました。

この状況を変えるため、2020年より管理者全員を対象としたワークショップ等を約1年かけて進めてまいりました。2021年からは小グループの活動が主となり、これまでにない法人内組織横断型の活動が始まっています。

活動の内容としては、連携の強化です。一言に連携といっても、漠然としています。その為、一年かけて何が必要かを話し合いました。

まず、理念についての解釈から始まりました。そして、職員同士を知る、繋がりを増やす、業務の共通ルールを作るといった内容が主となりました。言い換えれば、信頼関係を作る、互酬性のルール、ネットワークを広げることであり、ソーシャルキャピタルの概念と一致すると考えます。コロナ禍での運営は非常に苦しいですが、このような時こそ力を集結し、総生会が地域住民の方々に最大限貢献できる法人にならなくてはいけないと思っています。